

やさしいいきいきフェスティバル (10月27日・パルシー他)



楽しみながら健康も考えて

医師や歯科医師、薬剤師などに直接相談ができる健康コーナーや、福祉団体と文化活動団体が日々の成果を発表するステージなど、幅広い内容で盛り上がる祭りを今年も開催しました。体力測定のコーナーでは、学生の頃によくやった反復横跳びや腹筋などをして、測定結果に一喜一憂する来場者たち。多目的広場に並んだ模擬店では、秋の過ごしやすい陽気の下、買い物や食事を楽しんでいました。

平成6年の開講から、25周年を迎えたバードウォッチング。147種類もの野鳥が観察されている黒浜沼周辺で、市内外から43人が集まり双眼鏡やカメラを手にバードウォッチングを楽しみました。蒲澤一夫さんは、「鳥は恐竜の生き残りといわれ、奥が深い生き物だと思っています。これからも日本の野鳥を見て回りたいです」と話してくれました。

この日も16種類の野鳥を観察



バードウォッチング (10月5日・黒浜沼周辺)



秋風を感じながら

10/20



毎年恒例となった「秋だ！コスモスだ！ウォーキング」。約80人の参加者たちは、蓮田駅からグループごとに見沼代用水沿いの緑のヘルシーロードを進み、立ち寄った五庵橋や久伊豆神社ではボランティアガイドによる解説に興味深そうに耳を傾けていました。閩戸地内にある休憩ポイントの古民家では、見頃を迎えたコスモスを眺めながら豚汁に舌鼓。その後も十三塚古墳跡などの市内の史跡を巡りました。村田均さんは、「土地や歴史を知ることができ、街に愛着が湧きました。ふだん車では見逃してしまうような場所も、ウォーキングだと景色の隅々まで目を向けられていいですね」とカメラのシャッターを切っていました。

# まちの風景

秋晴れの下旬催された、人間総合科学大学学園祭。さまざまな出店や企画が並んだ他、映画「あの日のオルガン」の上映も行われ、おぜいの来場者でにぎわっていました。野外特設ステージでは学生のバンド演奏やよさこい演舞、にやんだぶうとはすびいによるパフォーマンスなどがあり、観客もいつしよになつて手拍子をして楽しんでいました。家族で来ていた鈴木真さん・徳子さん・悠太さん・若菜ちゃん・杏奈ちゃん、一昨年から学園祭に遊びに来ています。家族皆にやんだぶうが大好きなので、ステージを楽しみにしていました。学生や地元のかたが主体になってイベントを盛り上げていて、温かい街だなと感じています」と話してくれました。

10/26 人間総合科学大学

学生も地元の人もみんな盛上がる！



太極拳の動きを取り入れた健康体操 (10月28日・老人福祉センター)



心と体を癒します



ゆっくりとした動作で体重移動し全身運動を行うことから、バランス能力や持久力の向上の他、リラクゼーション効果もある太極拳。参加者は、力を抜き、呼吸を意識しながらポーズを取っていきました。佐藤博さんは、「いい運動になり、終わった後は爽快感があります。これからも継続して参加していきたいです」と魅力を語ってくれました。

子どもたちの夢を支える

卓球指導者で、平野美宇選手ひらのみうの母でもある、平野真理子さんの講演が行われました。さまざまなものに触れさせ、自分で選択する力も養うなど、個性を大事にした子育てエピソードに聞き入る来場者たち。障がいの有無に関係なく、みんなが楽しめる社会を広げることが夢だと語った平野さんは、最後に「大人も夢を持ち笑顔で過ごすことが、一番の子育てです」と、メッセージを送りました。



コミュニティ講演会 (11月2日・ハストピア)